



2020年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年6月12日

上場会社名	株式会社ビューティガレージ	上場取引所	東
コード番号	3180	URL	http://www.beautygarage.co.jp/
代表者	(役職名)代表取締役CEO	(氏名)野村 秀輝	
問合せ先責任者	経営管理グループ統括責任者	(氏名)齋藤 高広	(TEL)03(5752)3897
定時株主総会開催予定日	2020年7月30日	配当支払開始予定日	2020年7月31日
有価証券報告書提出予定日	2020年7月31日		
決算補足説明資料作成の有無	: 有		
決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2020年4月期の連結業績 (2019年5月1日～2020年4月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期	15,730	13.6	730	16.2	747	15.6	408	7.1
2019年4月期	13,852	18.6	628	△3.1	646	△1.0	380	△15.3
(注) 包括利益	2020年4月期 398百万円 (4.7%)		2019年4月期 380百万円 (△16.5%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年4月期	64.48	-	10.5	10.6	4.6
2019年4月期	59.80	59.80	11.2	10.0	4.5

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
2020年4月期	7,267		4,102		55.0	629.36
2019年4月期	6,827		3,810		54.9	587.21
(参考) 自己資本	2020年4月期 3,993 百万円		2019年4月期 3,749 百万円			

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年4月期	133	△175	69	2,212
2019年4月期	607	△320	142	2,052

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年4月期	—	—	—	9.00	9.00	57	15.1	1.7
2020年4月期	—	—	—	10.00	10.00	63	15.5	1.6
2021年4月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 2021年4月期の期末配当につきましては実施する予定ですが、金額は未定であります。

3. 2020年4月期の連結業績予想 (2020年5月1日～2021年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,610	△1.3	170	△45.8	172	△45.4	59	△63.4	9.47
通期	16,732	6.4	601	△17.6	605	△19.0	350	△14.1	55.42



※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

: 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規1社（社名）台湾美麗平台股份有限公司、除外1社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | | |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : | 無 |
| ④ 修正再表示 | : | 無 |

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年4月期	6,376,000株	2019年4月期	6,376,000株
② 期末自己株式数	2020年4月期	63,580株	2019年4月期	482株
③ 期中平均株式数	2020年4月期	6,327,570株	2019年4月期	6,368,765株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(その他特記事項)

例年行っております決算説明会（機関投資家、アナリスト向け）の2020年4月期につきましては、参加者の皆様の安全を考慮し、中止とさせていただきます。なお、詳細については決算補足説明資料をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、米中貿易摩擦、消費増税の影響等もありながら第3四半期までは緩やかな回復基調が続いておりましたが、第4四半期に新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済活動の自粛等の影響により、景気が急速に悪化し、極めて厳しい経済状況になると共に先行きも不透明な状況と変わりました。

美容業界におきましても、経済活動の自粛に伴う各店舗の休業措置や時短営業、顧客の不安心理増大に伴う来店数減少、新規出店の中止・延期等といった厳しい事象が続いております。

そのような状況下、当社グループでは提供する商品・サービスの拡充とレベルアップに努めるとともに、WEBマーケティング施策による既存顧客の活性化と新規顧客の獲得増加に向けて注力することで、順調に業績を拡大してまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴って、第4四半期とりわけ2020年4月単月業績への影響が一定程度ありました。

この結果、当連結累計期間における売上高は15,730,294千円（前年同期比13.6%増）、売上総利益は4,774,953千円（前年同期比13.3%増）、営業利益は730,038千円（前年同期比16.2%増）、経常利益は747,337千円（前年同期比15.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は408,002千円（前年同期比7.1%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 物販事業

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム＋法人営業チーム、カタログ通販誌「BG STYLE」および海外営業拠点を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、国内外の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン向けに提供しております。

当連結会計期間におきましては、ECサイトのUI/UXの着実な改善と進化を継続することで、EC経由売上高のさらなる拡大を目指してまいりました。また商品ラインアップの拡充にも努め、ヘア化粧品メーカー様との取引口座拡充などにより取り扱い販売商品数を大幅に増やしてまいりました。その一方で、NB比率および化粧品・材料比率の増加に伴い、売上総利益率はやや低下傾向となりました。

この結果、EC売上高が前年同期比20.8%増（物販売上構成比76.4%）、化粧品・材料売上高が前年同期比23.4%増（物販売上構成比48.4%）と伸長し、物販事業全体としての売上高は11,991,750千円（前年同期比14.2%増）、セグメント利益は611,974千円（前年同期比19.2%増）となりました。

② 店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・福岡・大阪・名古屋において店舗設計・工事施工監理を提供しております。

トレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計デザインの提案を行うことで独立開業を目指す顧客から高い支持を得ていることから、設計士やデザイナーの増員を行い積極的な営業活動を行った結果、新規開業顧客に加えて大手チェーン店本部からの受注が増加しました。この結果、当事業の売上高は3,246,605千円（前年同期比10.9%増）、セグメント利益は190,755千円（前年同期比34.3%増）となりました。

③ その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして開業プロデュース、居抜き物件仲介、集客支援、講習・アカデミー、損害保険、システム導入支援、店舗リース、M&A仲介等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市のショールームを通して提供しております。

当該事業は、単体での収益化以上に当社グループの主力事業である物販事業や店舗設計事業への入口、繋ぎ役としての役割に重きを置くようになっております。

当連結累計期間におきましては、理美容室・エステ・ネイル・アイラッシュサロン向けの居抜き物件に特化した「サロン不動産ネット」の全面刷新も行いました。各種サービスのうち、開業プロデュース、店舗リース、講習・アカデミーのソリューションサービスが堅調に伸長したことにより、当事業の売上高は491,938千円（前年同期比17.0%増）、セグメント利益は45,576千円（前年同期比106.8%増）となっております。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて10.2%増加し、5,978,383千円となりました。これは、主に現金及び預金と棚卸資産の増加があったことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて8.2%減少し、1,288,650千円となりました。これは、主に無形固定資産及び投資その他の資産の減少によるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5.7%減少し、2,526,799千円となりました。これは、主に仕入債務及び未払金の減少によるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べて88.2%増加し、637,628千円となりました。これは、主に長期借入金の増加があったことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて7.7%増加し、4,102,606千円となりました。これは、主に自己株式の取得による減少97,556千円と配当金の支払に伴い利益剰余金の減少57,379千円があったものの、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加408,002千円があったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ159,677千円増加し、2,212,210千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、133,641千円（前年同期は607,930千円の資金増加）となりました。これは、主にたな卸資産の増加、法人税等の支払額及び未払金の減少があったものの、税金等調整前当期純利益の計上、減価償却費の計上及び売上債権の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、175,681千円（前年同期は320,460千円の資金減少）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出及び敷金・保証金の差入れによる支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、69,383千円（前年同期は142,024千円の資金増加）となりました。これは、主に借入債務の返済による支出及び自己株式の取得による支出があったものの、長期借入れによる収入があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の美容業界におきましては、新型コロナウイルスの影響継続が見込まれることから、引き続き厳しい状況が予想されます。当社グループとしても、短期的には一定程度の業績面への影響が出ることを想定しておりますが、中長期的には美容商材流通における対面型販売比率が下がり、EC化が一層進むことが想定されるため、追い風となってくるものと考えております。

そのような見通しの中で、当社はBtoB美容業界向けECプラットフォームとしての圧倒的な地位を確立することで、2024年度時点で「国内美容ディーラーTOPの地位を獲得する」ことを目指してまいりたいと考えております。

2021年4月期は、ECサイトのUI/UXのさらなる進化・改善を進めていくとともに、新西日本物流センターの開設などの積極投資を予定しており、営業面、サービス面の一層の強化を行うことでロイヤル顧客の拡大と一顧客あたりの年間ご利用額の増加を目指してまいります。

以上により、2021年4月期の連結業績予想につきましては、売上高16,732百万円（前年同期比106.4%）、営業利益601百万円（前年同期比82.4%）、経常利益605百万円（前年同期比81.0%）、親会社に帰属する当期純利益350百万円（前年同期比85.9%）を見込んでおります。

なお、上記に記載した将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものでありますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であるため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当連結会計年度 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,052,533	2,212,210
受取手形及び売掛金	1,163,717	1,045,409
営業投資有価証券	-	154,521
商品及び製品	1,635,124	1,756,880
仕掛品	83,264	111,734
その他	506,694	705,891
貸倒引当金	△16,969	△8,265
流動資産合計	5,424,365	5,978,383
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	154,998	159,903
機械及び装置（純額）	2,886	40,312
車両運搬具（純額）	3,176	1,749
工具器具備品（純額）	52,337	54,971
リース資産（純額）	-	4,547
土地	38,099	38,099
有形固定資産合計	251,499	299,585
無形固定資産		
のれん	146,732	94,396
その他	308,100	275,768
無形固定資産合計	454,832	370,165
投資その他の資産		
投資有価証券	240,885	103,060
繰延税金資産	122,619	133,539
敷金保証金	295,503	341,456
その他	37,656	40,843
投資その他の資産合計	696,664	618,899
固定資産合計	1,402,997	1,288,650
資産合計	6,827,362	7,267,033

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当連結会計年度 (2020年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,233,436	1,176,474
短期借入金	47,000	15,000
1年内返済予定の長期借入金	157,802	283,316
未払金	280,290	190,210
未払法人税等	149,315	192,241
前受金	240,832	178,630
賞与引当金	50,628	57,748
製品保証引当金	11,771	8,052
受注損失引当金	6,435	7,116
株主優待引当金	3,240	3,300
訴訟損失引当金	12,274	-
株式報酬引当金	12,047	20,149
その他	473,164	394,559
流動負債合計	2,678,238	2,526,799
固定負債		
長期借入金	158,400	429,744
退職給付に係る負債	8,434	7,989
ポイント引当金	74,442	88,061
資産除去債務	44,224	44,907
その他	53,263	66,925
固定負債合計	338,764	637,628
負債合計	3,017,003	3,164,427
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,385	768,385
資本剰余金	712,345	713,929
利益剰余金	2,269,475	2,609,227
自己株式	△351	△97,907
株主資本合計	3,749,854	3,993,634
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,102	△20,825
その他の包括利益累計額合計	△6,102	△20,825
新株予約権	1,028	-
非支配株主持分	65,578	129,797
純資産合計	3,810,358	4,102,606
負債純資産合計	6,827,362	7,267,033

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
売上高	13,852,101	15,730,294
売上原価	9,637,218	10,955,341
売上総利益	4,214,883	4,774,953
販売費及び一般管理費	3,586,876	4,044,914
営業利益	628,006	730,038
営業外収益		
受取利息及び配当金	35	164
仕入割引	601	742
為替差益	-	3,077
受取手数料	1,162	3,982
投資有価証券売却益	5,002	8,144
違約金収入	17,744	-
固定資産売却益	-	4,298
その他	4,040	4,484
営業外収益合計	28,587	24,894
営業外費用		
支払利息	1,897	2,296
為替差損	4,260	-
障害者雇用納付金	1,640	1,720
違約金	-	2,980
その他	2,251	598
営業外費用合計	10,049	7,595
経常利益	646,544	747,337
特別利益		
特別利益合計	-	-
特別損失		
訴訟損失引当金繰入額	12,274	-
減損損失	-	32,749
特別損失合計	12,274	32,749
税金等調整前当期純利益	634,269	714,588
法人税、住民税及び事業税	249,705	312,763
法人税等調整額	△2,384	△4,149
法人税等合計	247,320	308,614
当期純利益	386,949	405,973
非支配株主に帰属する当期純利益	6,067	△2,029
親会社株主に帰属する当期純利益	380,881	408,002

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
当期純利益	386,949	405,973
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△6,473	△7,467
その他の包括利益合計	△6,473	△7,467
包括利益	380,475	398,506
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	374,778	399,655
非支配株主に係る包括利益	5,696	△1,149

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	593,232	543,999	1,944,551	△351	3,081,432
当期変動額					
新株の発行	175,152	175,152			350,305
剰余金の配当			△55,957		△55,957
親会社株主に帰属する当期純利益			380,881		380,881
自己株式の取得				-	-
自己株式の処分					-
連結子会社株式の取得による持分の増減		△6,806			△6,806
新規連結による減少高					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	175,152	168,345	324,923	-	668,422
当期末残高	768,385	712,345	2,269,475	△351	3,749,854

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	-	-	1,903	33,236	3,116,572
当期変動額					
新株の発行					350,305
剰余金の配当					△55,957
親会社株主に帰属する当期純利益					380,881
自己株式の取得					-
自己株式の処分					-
連結子会社株式の取得による持分の増減					△6,806
新規連結による減少高					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△6,102	△6,102	△875	32,341	25,363
当期変動額合計	△6,102	△6,102	△875	32,341	693,786
当期末残高	△6,102	△6,102	1,028	65,578	3,810,358

当連結会計年度(自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	768,385	712,345	2,269,475	△351	3,749,854
当期変動額					
新株の発行					-
剰余金の配当			△57,379		△57,379
親会社株主に帰属する当期純利益			408,002		408,002
自己株式の取得				△111,140	△111,140
自己株式の処分		1,611		13,584	15,195
連結子会社株式の取得による持分の増減		△27			△27
新規連結による減少高			△10,870		△10,870
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	1,584	339,752	△97,556	243,780
当期末残高	768,385	713,929	2,609,227	△97,907	3,993,634

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△6,102	△6,102	1,028	65,578	3,810,358
当期変動額					
新株の発行					-
剰余金の配当					△57,379
親会社株主に帰属する当期純利益					408,002
自己株式の取得					△111,140
自己株式の処分					15,195
連結子会社株式の取得による持分の増減					△27
新規連結による減少高					△10,870
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△14,723	△14,723	△1,028	64,218	48,467
当期変動額合計	△14,723	△14,723	△1,028	64,218	292,247
当期末残高	△20,825	△20,825	-	129,797	4,102,606

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	634,269	714,588
減価償却費	128,731	158,909
減損損失	-	32,749
のれん償却額	40,083	42,091
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△5,002	△8,144
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,787	13,618
ポイント引当金の増減額(△は減少)	15,392	△8,703
製品保証引当金の増減額(△は減少)	5,938	△3,718
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	12,047	23,297
その他の引当金の増減額(△は減少)	△61,956	6,576
受取利息及び受取配当金	△35	△164
支払利息	1,897	2,296
有形固定資産売却損益(△は益)	371	△4,298
売上債権の増減額(△は増加)	△24,173	128,698
たな卸資産の増減額(△は増加)	△194,919	△299,075
仕入債務の増減額(△は減少)	176,161	△83,178
前渡金の増減額(△は増加)	68,072	△29,104
未払金の増減額(△は減少)	△55,239	△112,000
未払消費税等の増減額(△は減少)	32,114	△19,854
未払費用の増減額(△は減少)	52,706	20,112
前受金の増減額(△は減少)	△62,483	△62,201
その他	102,928	△83,836
小計	859,117	428,657
利息及び配当金の受取額	35	164
利息及び保証料の支払額	△1,829	△2,263
和解金の支払額	-	△11,433
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△249,392	△281,483
営業活動によるキャッシュ・フロー	607,930	133,641
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△60,202	△85,839
有形固定資産の売却による収入	1,186	57,654
無形固定資産の取得による支出	△38,964	△46,124
投資有価証券の取得による支出	△187,825	△65,000
投資有価証券の売却による収入	15,007	33,144
敷金保証金の差入による支出	△64,589	△66,492
敷金保証金の回収による収入	18,610	1,924
資産除去債務の履行による支出	△311	-
その他	△3,371	△4,948
投資活動によるキャッシュ・フロー	△320,460	△175,681

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	17,000	-
短期借入金の返済による支出	△113,334	△61,911
長期借入れによる収入	150,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△222,776	△203,141
リース債務の返済による支出	-	△4,686
株式の発行による収入	349,430	-
自己株式の取得による支出	-	△111,140
預け金の預入による支出	-	△89,824
非支配株主からの払込みによる収入	17,617	-
配当金の支払額	△55,912	△57,417
新株予約権の買入消却による支出	-	△1,028
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△1,467
財務活動によるキャッシュ・フロー	142,024	69,383
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,257	997
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	424,238	28,340
現金及び現金同等物の期首残高	1,607,648	2,052,533
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	20,646	131,336
現金及び現金同等物の期末残高	2,052,533	2,212,210

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別のセグメントから構成されており、「物販事業」、「店舗設計事業」及び「その他周辺ソリューション事業」の3つを報告セグメントとしております。

「物販事業」は、理美容室やエステティックサロン・ネイルサロン等の各種ビューティサロンで使用する理美容機器・化粧品等の仕入、販売を行っております。「店舗設計事業」は、店舗の内装工事等に関する設計・施工・監理を行っております。「その他周辺ソリューション事業」は、理美容室やビューティサロンに対する不動産仲介・開業支援・店舗リース・セミナー・保険事業等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リューション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,504,508	2,927,157	420,435	13,852,101	-	13,852,101
セグメント間の内部 売上高又は振替高	220,153	41,557	58,799	320,509	△320,509	-
計	10,724,661	2,968,714	479,234	14,172,611	△320,509	13,852,101
セグメント利益	513,507	142,026	22,042	677,576	△49,569	628,006

(注)1. セグメント利益の調整額△49,569千円には、セグメント間取引消去104,286千円、未実現利益の調整額37,557千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△191,413千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リューション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,991,750	3,246,605	491,938	15,730,294	-	15,730,294
セグメント間の内部 売上高又は振替高	91,482	51,737	21,440	164,660	△164,660	-
計	12,083,233	3,298,342	513,379	15,894,955	△164,660	15,730,294
セグメント利益	611,974	190,755	45,576	848,306	△118,267	730,038

(注)1. セグメント利益の調整額118,267千円には、セグメント間取引消去61,638千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△179,906千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

物販事業に属する連結子会社BEAUTY GARAGE SINGAPORE PTE. LTD. およびBEAUTY GARAGE MALAYSIA SDN. BHDに係るのれんについて、当初想定していた収益の達成に遅れが生じており、計画値の達成には時間を要すると判断したことから、32,749千円を減損損失として特別損失に計上しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
1株当たり純資産額※2	587.21 円	629.36 円
1株当たり当期純利益金額※1	59.80 円	64.48 円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額※1	59.80 円	— 円

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	380,881	408,002
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	380,881	408,002
普通株式の期中平均株式数(株)	6,368,765	6,327,570
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	618	—
(うち新株予約権(株))	(618)	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当連結会計年度 (2020年4月30日)
純資産の部の合計額(千円)	3,810,358	4,102,606
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	66,606	129,797
(うち新株予約権(千円))	(1,028)	(—)
(うち非支配株主持分(千円))	(65,578)	(129,797)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,743,751	3,972,808
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	6,375,518	6,312,420

(重要な後発事象)

該当事項はありません。